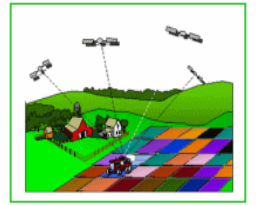


北海道情報化農業ニュース

北海道における持続的な農業の発展のための情報技術の活用促進
およびその健全な普及を図る。



●「平成 26 年度北海道地域マッチングフォーラム」開催案内 ●「講演会」開催案内 ● ●

号外 2014. 11. 13

NPO 法人グリーンテクノバンクより「平成 26 年度北海道地域マッチングフォーラム」と一般財団法人 北海道農業近代化技術研究センターより講演会の開催案内がありましたので、お知らせします。

平成 26 年度北海道地域マッチングフォーラム 「業務用、加工用水稲新品種と研究開発の新たな展開」

1. 趣旨

平成 26 年度北海道地域マッチングフォーラムでは水稻の新品種をテーマとして、新たな需要への対応が期待できる加工用新品種及び大きな国内需要に対応できる業務用新品種を紹介するとともに、将来に向けた取り組み、そして流通の立場からのご意見を交えて活発な意見交換を行い、新品種の普及、流通に向けたマッチングを行います。

2. 開催日時 平成 26 年 12 月 4 日（木）13：15～17：15（受付 12：00～）

3. 開催場所：KKR ホテル札幌（札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 1 番地）

4. 主催：農林水産省農林水産技術会議事務局、農研機構 北海道農業研究センター
協賛：法人グリーンテクノバンクほか

5. 対象：生産者、生産者団体、行政・普及関係者、関係研究者、関係団体・企業、消費者、その他、
水稻の生産及び流通利用に関心のある方

6. 参加料：無料

7. 参加定員：150 名

8. 次第

(1) 講演

- 1) 加工用多収米新品種「北瑞穂」
農研機構 北海道農業研究センター 主任研究員 松葉修一
- 2) 業務用多収品種「空育 180 号」
道総研 中央農業試験場 主査（水稻育種）尾崎洋人
- 3) 米飯、米粉パン等の柔らかさを保持できる水稻の開発状況
農研機構 北海道農業研究センター 上席研究員 梅本貴之
- 4) 北海道米の業務用適性評価法
道総研中央農業試験場 研究主幹 柳原哲司
休憩（試食：水稻品種「空育 180 号」の丼物）
- 5) 北海道米における業務用米・加工用米の実需者ニーズと生産・販売戦略
ホクレン農業協同組合連合会 米穀事業本部 次長 荒島 規一

